

# カラクサイノデ

*Polystichum microchlamys* (H.Christ) Matsum.  
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内の生育地は3箇所だけで、希少種である。

## 分 布

全国分布は、北海道、本州。県内分布は大野市、勝山市、池田町。

## 種の特徴

夏緑性で、株をつくり葉を出す。葉身下部の羽片は次第に短くなる。葉柄は約20cmで鱗片を多くつける。葉身は2回羽状浅裂、小羽片は羽軸に広い角度でつき、翼をつくる。胞子嚢群は小羽片の中肋よりにつく。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1982)  
福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○						○	○	

# ミヤマウラボシ

*Selliguea veitchii* (Baker) H.Ohashi et K.Ohashi  
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県下での生育地は2箇所のみで、深山の岩石に極稀に群生している。産地局限。

## 分 布

全国分布は北海道、本州、四国。県内分布は大野市、勝山市。

## 種の特徴

夏緑性。根茎は長くはい、葉を出す。葉身は羽状に深く切れこみ、頂羽片と1~4対の側羽片からなる。胞子嚢群は上部の羽片につく。円形で中肋に近い両側につく。包膜はない。

## 生育を脅かす要因

極稀産種、園芸採取。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、  
中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

# ホンドミヤマネズ

*Juniperus communis* L. var. *hondoensis* (Satake) Satake ex Sugim.  
ヒノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県では亜高山の厳しい環境下で生育している。生育地も限られ絶滅が危惧されるので、今回絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分 布

本州(関東北部から中部地方)に分布する。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

亜高山から高山帯に生える常緑の低木。雌雄異株。樹皮は暗褐色で縦裂し、若い枝は黄褐色を帯びる。幹は地を這い広がる。葉は針状で長さ5~10mm、幅約1.5mm、枝に密に3輪生する。花期は8月、雄花は葉腋につき楕円形。毬果は球形、翌年の秋に熟し、紫黒色。

## 生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会 (1999)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	